



発表会大成功でした！ 2009年10月12日(祝・月)神戸文化大ホール 川のほとりの一本の松 海のおはなし

はなやかで美しく力強く上品な舞台を創って下さってありがとうございました。
とても見ごたえのある発表会になりました。お礼を申します。
インフルエンザ流行の中 全員が出演して下さい ちいさい人も自分の役割を立派に果たして下さいました。とても とてもうれしく思っています。
あなたたち出演者はどうでしたか。踊っていて楽しかったでしょうか。それともすごく緊張しましたか。来年も出演しようと思ってくれていますか。
保護者のみなさま こどもたちと研究所と公演を支えて下さり誠にありがとうございます。いかがでしたでしょうか。ああもすればよかったこうもすればよかったと反省点は多々ありますが こどもたち生徒たちが創ってくれた舞台の感動がまだまだ強烈で酔ったような心地でいます。
来年は10月10日(日・三連休の中日)神戸文化ホールです。ぜひご出演くださいませ。
藤田佳代 寺井美津子 金沢景子 菊本千永 かじのり子 向井華奈子

楽屋での待ち時間はとても長いです。でもとても楽しいようです。ただ楽屋での過ごし方で舞台上に立って上手に踊れるかどうかが決まります。楽屋でどうやって過ごすか...実はとても大事なことです。

もう昔の話ですが、ある年の発表会でとある楽屋に入って行って思わず息を止めました。うっ、くさい...。見れば大宴会が繰り広げられていました。匂いの元凶はスルメ。袋が散乱しワンカップこそなかったものの、無礼講のお花見状態。なにしてるんよ!!と声を荒げてお行儀よくするように言ってその場から離れたが、その後「ちゃん吐いたで」という報告も受けました。そんな時の舞台がベストであるはずもなく...。その年以降、持ち物は匂いの出るもの身につくと汚れるものは厳しく禁止となりました。この話すっかり忘れていたのですが、今回の発表会の前にベテランお母さんが(この話のことは全く御存じなく)匂いの出るものは駄目です、と説明されているのを耳にして思い出しました。そこで今回は楽屋責任者に書いていただきました。楽屋でのみんなどうでしたか?

私は、今年初めて楽屋の責任者になった。出番を待ちながら過ごす楽屋での時間も、舞台の醍醐味のひとつだ。衣装を着て化粧をし、自分以外のものになる、言わなければ種の“変身”が起こる部屋。自分で化粧するようになってから感じ始めた、自分で自分を描く瞬間のあのなんとも言えない感覚は、実に面白い。
さて、男性楽屋は、毎年小さな部屋に5~8人程がいるが、まったく狭さを感じさせない。逆に居心地がいい。部屋のメンバーによって年々少しずつ違うのだが、割と静かでありながら重苦しい空気もない。一人で好きなことをしたり、2~3人のグループで集まっていたりと、皆自由に待ち時間を楽しんでいる。よく見ると、それぞれ自分の定位置というものを持っていて、専らそこにいることに気付く。また、男部屋には物品が散乱していないのも意外だ。
と、ここまで男性楽屋の自慢話らしきものを長々と書き綴ってきたが(果たして本当に自慢になっているのか)、私は声を大にして言いたい。私はこの楽屋がとても好きだ。(もっとも他の楽屋に入った経験はないのだが...) 私にとっては、実に“楽しい部屋”なのだ。来年もこの小さな楽屋で、自分の出番を待ちながらゆったりと過ごせることを楽しみにしたい。
谷岡亮

今年の私の楽屋は研究科・バレエ体操・ジュニア・土曜日クラスと、たくさんの方がいました。その中でも「目のメイク、これでいい?」「去年と踊り方が違うているね」「その衣装、踊りとマッチしているね」などと、時間帯や曜日が違って普段あまり話した事がない人たちとも仲良く時間を共にすることができました。その楽屋には、踊りの復習をしている人、テレビ(モニターで舞台が見られるのです)を見て動きを研究している人、小さい子の面倒を見ている人などと、さまざまでした。それぞれ意義ある時間を過ごしながら本番を迎え、毎年このみんなで舞台を作りあげているのです。自分もその一人である事を嬉しく思い、いろいろな人や物事にかかわれることに感謝しています。
松浦早希

発表会までもとても頑張っておけいしていたリズムクラス。みんな緊張しているだろうと思って楽屋に入ってみると、意外なほど静かで思わず忍び足になってしまいました。ぬり絵をしたり、テレビの画面で舞台の様子を見つめて他の人の踊りを見守っていたりして、本当に静かに、落ち着いて過ごしていました。リハーサルから本番終了まで長い時間でしたが、まるで「楽屋の過ごし方」のお手本のビデオが作れそうなくらいでした。みんなの緊張をほぐそうと楽屋に入った私でしたが気付けば私の方が和んでいました...

長時間疲れていたと思うのですが本番では本物のウサギが踊っているような生き生きとした踊りでとても楽しかったです。
これからもういっぱいおけいこをして、すばらしい踊りを一緒に踊っていけることを楽しみにしています!!
リズムクラスのみんな! これからもよろしくね!!

平岡愛理

10月12日に発表会がありました。ここでは舞台上のことではなくて(すでにたくさんのお話し合いがあったと思うので)その後の楽屋について少し書いていきたいと思います。

お客さんには舞台上で踊られる踊りが発表会になりますが、出演者にすれば楽屋での時間も含め全てが発表会です。自分でお化粧をして衣装をきて、友達を手伝ってあげたり、反対に助けてもらったり、不安になったり、どうにかして心を落ち着けたり。発表会の日、出演者は普段のお稽古では習わないようなこともたくさん体験します。その時は舞台にむけての準備だとか考えられませんが、(今学校でこの文章を書いています)一歩離れて考えてみると、楽屋での時間は舞台上の事とともに大切なことだったと改めて思うことができます(『何をいまさら!』)と思った方、本当にいまさらですみません。
最後に踊り手が舞台にきちんとたてるようにと手伝ってくださった保護者の方や友達や関係者のみなさん、そしてアドバイスをくれたり励ましてくれた先生方、どうもありがとうございました。
萩原陽子

発表会当日。私の担当は本部の火曜日・水曜日・金曜日の幼児科と児童科の楽屋でした。本部の楽屋が担当だと知った瞬間、私は「今日は長い一日になるだろうな」と思いました。本部の楽屋はいつもやんちゃなイメージがあったからです。子供たちが楽屋内や廊下を走り回り、お菓子を口にほおぼって、口紅をあちこちに付けて回る…。楽屋はシートをしいて遠足状態…。リハーサル時にはお化粧ができていない子供たちがたくさんいて…というのが私のイメージする発表会の舞台裏でした。しかし、今回は違っていました。子供たちはすすんで自分からお化粧をしようと私に「次何したらいいん？」と無邪気に聞きにきてくれました。お母さん方もとても協力的で私は5・6人のお化粧しかお手伝いせず済みました。楽屋にいた子供たちは折り紙をしたりゲームをしたり…。こういう時に限って言えば、ゲームは私たちの味方でした。そんな調子で子供たちは疲れた様子もなく、楽しく元気いっぱい舞台の上で踊ってくれました。とてもかわいくてみんなが自分の妹のようでした。私は子供たちの本番で頑張る姿を見るのが本当に好きです。たくさん褒めたくになります。保護者方もお手伝いしてくださった方々も本当にありがとうございました。みんな、本当にお疲れ様でした！

梁河茜

次の舞台

第10回藤田佳代作品展 2009年11月3日(祝・火) 神戸文化ホール
運ぶ 日ははや暮れ 響く

出演 寺井美津子 金沢景子 菊本千永 かじのり子 向井華奈子 灰谷留理子 石井麻子 板垣祐三子 萩原陽子 仲間くみ子
名田麻希子 梁河茜 平岡愛理 西田梨緒 谷岡亮 姜末喜 田中文菜 佐藤茉莉 松浦早希 田中彩加 藤田佳代

第10回藤田佳代作品展 今回で佳代先生の最後のリサイタルです。27年前、第1回目の作品展を行ったときに「どうぞ10回リサイタルをさせて下さい」とお願いしたそうです。27年間病気やけがもなく3年に一度のリサイタルを開催してきました。出演者の中には1回目から出演しているメンバーもおりますし、1回目からずっと観に来て下さったお客様もいるのです。なんてすごい事かと思えます。

最後にふさわしいと言えばいいの、今回の三つの作品はとても難しく出演者は今までの踊り方では通用しない何かをひしひしと感じています。佳代先生はまた遠くに行ってしまったなあ、というのが実感です。ただそうは言ってもいられません。今までにない何かを踊れるようにしたいと思っています。

毎回の作品展の目玉、フラメンキストの東伸一矩先生も「日ははや暮れ」にゲスト出演されます。南和好先生の美術もすごいです。「ひびく」は丹生ナオミさんの作曲で、加島裕子さんと丹生さんによるピアノの生演奏とどの作品も外側は完璧です。作品の仕上がりにはいろいろな段階があると思いますが、よりパーフェクト目指して出演者一同がんばります。どうぞみなさん観に来て下さい。

発表会とはまた雰囲気の違い公演です。小さい人には難しいかもしれませんが、でも、なにかひとつでもいい、なにかを感じ取ってもらえたら嬉しく思います。どうぞよろしくお祈りします。

活動報告

ダンス夢洞楽2009 8月5日 北沢タウンホール 「死者たちからのパトン」
作舞 菊本千永 出演 寺井美津子 金沢景子 かじのり子 向井華奈子 灰谷留理子 菊本千永
ピッコロフェスティバル 8月16日 ピッコロシアター
「sandlot ひとつぶの砂 where I came from 砂から 涙砂(すな)の声」
構成・作舞・出演 向井華奈子 作舞・出演 平岡愛理 寺井美津子 金沢景子 菊本千永 かじのり子
ハスミのダンス 8月23日 新神戸オリエンタル劇場
ダンスブーケ2009 8月30日 本部スタジオ
「Grab it! (つかまえる!)」 かじのり子 「白の中の黒」 平岡愛理 「空がない」 寺井美津子 「空」 西田梨緒
「myself」 松浦早希 「夢道人」 金沢景子 「仮面」 谷岡亮 「SANDLOT」 向井華奈子 平岡愛理
「鳥」 重友理帆 「『むかし、むかし』がある世界」 萩原陽子 「秋分」 梁河茜 「よりみち」 仲間くみ子
「夏のおわり」 名田麻希子 「死者たちからのパトン」 菊本千永

今後の予定

第5回藤田佳代舞踊研究所西大和教室発表会 2009年11月29日(日) 河合町立まほろばホール

海のおはなし 太陽のカケラが地球にやってきた イルルだ!

3年に一度の西大和教室の発表会です。本部研究科 有野、山の街、若江岩田、西山教室の生徒たちも賛助出演して「海のおはなし」を抜粋で上演します。他にも小品集として 作舞・出演 西田梨緒 「空」 作舞・出演 谷岡亮 「響く森」

構成 向井華奈子 作舞・出演 寺井 金沢 菊本 かじ 平岡 向井

「SANDLOT ・ひとつぶの砂 Where I came from ・砂から ・涙砂(すな)の声」

も上演いたします。まほろばホールはごんまりしたとても素敵なホールです。ぜひご来会ください。

各教室クリスマス会

本部教室 12月23日(水・祝) 10:00~ 東灘区民センター9f 多目的ホール

支部教室 最終稽古日 それぞれのお稽古場

創作実験劇場 2010年3月13日(土) 東灘区民センターうはらホール

来年から創作実験劇場は住み慣れた県民小劇場を離れ、本部教室の近くの東灘区民センターうはらホールになります。まだあまりなじみのない劇場ですが、県民小劇場のように知りつくせるほどの舞台数が踏めたらいいなと思います。うはらホール!! この劇場にも抽選のドラマがありました。不肖菊本の血と涙でとった3月13日です。その前には佳代先生のリサイタルを成功させなければなりませんし来年のことを言えば鬼が笑うのでしょうか、実験劇場もよろしくお祈りいたします。

責任編集 菊本千永